

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医のカルテ



55



小池 博行

チエルシアアニマル  
クリニック院長  
(富山市上飯野)

約20年前、日本でサッカーW杯が行われたころに1番人気犬種だったのは、ダックスフンドでした。ちなみに2番人気はチワワ。そこから2008年を境にプードルが一気に人気ランキングの1位になりました。ちなみにチワワは01年から20年までずっと銀メダル。いつか1番人気を取って欲しいと思っっていますが…。では、1番人気犬種のプードルの中で最も多く飼われているトイプードルには、どのような病気やけが多いのでしょうか。

動物病院に来院するトイプードルを診察していると、他の犬種と同じように耳がかゆい、赤いなどの外耳炎、吐いたり下痢したりす

### トイプードルの病気・けが

## 骨折や脱臼に注意



トイプードルの骨折(上)と膝蓋骨脱臼(下)の術前・術後のレントゲン画像

る胃腸炎がやはり多いです。その中でもトイプードルが他犬種よりもなりやすい病気トッパ3が、ペット保険「アニコム損害保険」から発表されています。骨折、流涙症(涙やけなど)、白内障です。

骨折は骨、関節などの整形外科の領域の病気です。その中で最も多いのは、前足の骨折の橈尺骨骨折です。ほかにもレックペルテス病、膝蓋骨脱臼が非常に多くなっています。どの病気も成長期であ

る1歳になるまでの間に起こしやすく、飼育始めて間もない時から注意しながらみていかないといいけません。

トイプードルの骨は非常に細く、数ミリしかない子もいます。そんなトイプードルは、ソファや飼い主さんの膝から落下しただけで簡単に骨折してしまいます。トイプードルの橈尺骨骨折の治療は、他の犬種よりもやや難易度が高いですが、現在はプレートを使用す

る手術が主流になっています。

膝蓋骨脱臼は、膝にあるいわゆるお皿の骨が脱臼して後ろ足を痛がる病気です。すべての脱臼の20%を占めるといわれるほど発生頻度が高く、手術が必要になる犬も多くなります。程度によりけりですが、手術の術式はいくつか組み合わせさせて実施します。

トイプードルに限らず、全ての犬はいったん興奮のスイッチがオンになると、けがを恐れず激しく動き、また痛みがあったとしてもそれを忘れて全力で動きます。そしてスイッチがオフになると、痛みが強くなったり足を引きずったりします。その動きはまるでスポーツ選手のようなのです。

早めに病気やけがを発見したり、防いだりできることも多いので、普段のお散歩の様子から歩き方がおかしくないか観察してあげること、また落下などしないように注意してあげることが大切です。少しでも異変を感じたら、動物病院へご相談ください。